

だんだん

幽玄の世界へ

第3回大地の芸術祭のオープニングイベント(前夜祭)として開催された「妻有観世能」。暮れゆく神明水辺公園パタフライ・パビリオンで展開された幽玄の世界に、詰めかけた約800人の観客は酔いしれました。

主な内容

特集

世界に発進! 大地の芸術祭 …… 2-9

- 大地の芸術祭 深発見!! …… 10-13
- 総合計画基本構想④ …… 14-15
- 全国大会に36選手が出場 …… 15



特集 世界に発進! 芸術祭



愛のグリーンヴィラ祭り(P4)

大地の芸術祭・アートトリエンナーレ2006が始まり、連日各地の作品周辺などで様々なイベントやワークショップが開催されています。最初の一週間は天候が不順でしたが、来訪者・見学者の出足は順調で、第3回への関心の高さと、催しの知名度向上への取り組みの成果が現れています。これまでに行われた主なイベントと、芸術祭を楽しむ人たちの声などを紹介します。

世界に向けてアートの活力を発信!

大地の芸術祭

越後妻有アートトリエンナーレ2006

開会式

7月23日(日)、午前10時からキナレを会場に開会式が行われました。名誉実行委員長の泉田裕彦新潟県知事をはじめ、ジルダ・ル・リデックフランス大使、10人の衆参両院議員のほか、国内外の参加アーティスト約100人など、計700人の関係者が出席してのオープニングセレモニーとなりました。

当日は梅雨とは思えないような灼熱の日差しのもと、女優の真野響子さんによる軽妙な司会進行とも相まって、式典の中盤からは日差しを跳ね返すような熱気が場内を包んでいました。

実行委員長の田口市長は、「大震災と2年連続の豪雪という自然災害を乗り越えての開催。元気を取り戻そうとする市民の思いを、鑑賞者から感じてもらいたい」とあいさつしました。地域の活力を国内外に発信するための第3回展です。



アーティストと関係者そろいぶみ

大地の芸術祭前夜祭 震災復興祈願 妻有観世能

狂言 佐渡狐 石田幸雄 能 羽衣 観世清和

7月22日(土)午後6時から下条・神明水辺公園で、「震災復興祈願 妻有観世能」が上演されました。前日から降り続いた雨は正午ころには降り止み、いつのまにか雨雲が頭上から去ると、開演時には心地よい風が場内を吹き抜きました。

石田幸雄さん、観世清和さんという当世一流の狂言師、能楽師による幽玄の世界が、舞台の鏡面パネルに火や水面とともに映し出されると、会場を埋めた約800人の観客は、身じろぎもせずに見入っていました。

新設されたこの舞台は、フランスの高名な建築家ドミニク・ペローさんが設計し、「バタフライパビリオン」と名付けられています。その名のとおり蝶の翅をイメージしたパネルが付けられたもので、ペローさんがこれまでに手がけた最小の建築物とのこと。地域の宝物になるような舞台ですので、前夜祭を見逃した人も、ぜひ一度は訪れてみませんか。



狂言「佐渡狐」



ドミニク・ペローさん(左)と観世清和さん

7月29日(日)、国際的に名高いジャズピアニスト佐藤允彦さんの呼びかけで、5人の民族楽器の演奏者がまつだ農舞台に集結しました。それぞれの楽器の独特な音色を織り交ぜて、民俗音楽やジャズミュージックなどを午後7時から2時間に渡り演奏し、集まった約200人の聴衆を異国ムードに誘いました。

出演した「STOWYK」(ストイック)は、このコンサートのために集まった演奏者6人の名前の頭文字をとって付けられたグループ名です。演奏された楽器は、アラブの弦楽器「ウード」やアジア系の打楽器「タブラ」、「クンダン」。そしてオーストラリア原住民アボリジニの民俗楽器で世界最古の木管楽器と言われている「ディジュリドゥ」などで、それらの音色に合わせて、ピアノやバイオリンがメロディーをつなぐように奏でられました。

コンサートは、序盤で各楽器に合わせた、民俗音楽を独奏で披露。後半には、セッションでスタンダードナンバーなど、おなじみの曲も演奏されました。

40の国と地域から作家が集まった今回の芸術祭。この環太平洋楽コンサートは、国際色豊かな音の芸術祭でした。

環太平洋楽コンサート in 越後妻有

出演: STOWYK
まつだ農舞台



かつての信濃川ナカゴに舟の神輿を

愛のグリーンヴィーラ祭り

高等学校美術の教科書で表紙に紹介されているグリーンヴィーラ（ナカゴグリーンパーク／作家・たほりつこ）で、7月29日（土）、「愛のグリーンヴィーラ祭り」という催しが行われました。2003年・第2回大地の芸術祭で制作されたこの作品は、火、水、農、



水、農、藝、天神の5つの象形文字を刻んだ



地上絵。太古の昔、信濃川が流れていた河岸段丘に、かつて信濃川の渡しに利用されていた舟をかつぎ上げ、天神ばやしの唄い上げや「愛」の象形文字点火などを行うワークショップに、大人・子どもを合わせて約200人が参加しました。特に、クレーンでつり上げられた舟で渡しを体験する「空中遊舟」では、子どもたちの歓声が芝生の大地にこだましていました。

アートコミュニティを目指して FUKUTAKE HOUSE in 越後妻有アートトリエンナーレ2006

旧名ヶ山小学校



旧名ヶ山小学校を会場に、福武ハウスin越後妻有アートトリエンナーレ2006が開催されています。大地の芸術祭を支援する財団法人サポーター「おおへび隊」の代表的存在福武總一郎さん（ベネッセアートサイト直島代表・財直島福武美術館財団理事長）が総合プロデューサーを務めるこの催しには、日本を代表する7つのギャラリーと東京大学総合研究博物館が参加。それぞれがイチオシする現代美術作家の作品が、教室などに展示され、注目を集めています。

7月23日（日）にはオープニングレセプションが行われ、名ヶ山集落の人たちとアーティスト、芸術祭関係者など約150人が参集。「芸術をとおして日本の原風景を再発見・回復し、越後妻有に健全なアートコミュニティを創ろう」という福武さんの呼びかけに、ひととき大きな拍手がわき上がっていました。

屋上では、アーティスト菅木志雄さんによるオープニングパフォーマンス「Activation」が行われ、見学者は熱心に見入っていました。

芸術祭を楽しむ④

芸術祭にかかわるみなさんにはうかがいました。（敬称略）

●愛のグリーンヴィーラ たほりつこ（東京芸術大学教授）



この場所には何万年前には信濃川が流れていたこと、数千年前には縄文文化が花開いていたこと

などから、ここに舟を運び、過去にさかのぼってみたいと思います。人の思い↓情熱↓愛とテーマが決まり、いろんな要素を取り入れました。欲張ったので全部できるかどうか心配でしたが、地元皆さんと学生たちの協力です。うまくいきました。感謝です。

●3年後もやります！

押木和之（元町・50歳）



信濃川からナカゴまで舟をかつぎ上げる、シユラを作る、クレーンでつる、天神ばやしの競

●地域のつながりに感謝 今中桃子（広島市・21歳）



武蔵野美術大学の学生です。芸術祭のことは何も知らずに参加しました。愛のグリーンヴィーラ祭りでは、木とかトラックとかクレーンとか、扱うものみんなスケールが大きくてびっくりしました。地元の人たちが生き生きと動いて協力し合っていることにも感激しました。祝い唄を町内会ごとに歌えるのも、ふだんの付き合いがあるからなんです。いいな」と思いました。

●越後妻有の再生が日本の再生に

福武總一郎（福武ハウス総合プロデューサー）



第2回大地の芸術祭のときに、「このままでは第3回以降が危ない」と思っ

て、私から一方的に協力の申し出をしました。行政に全面的に頼らなくてもいいように、主に資金面と交通アクセス用意の部分で協力させてもらいました。なんとかメドがついたので、これまでの経験も含めて次回以降に生かしてほしいと思います。

直島、金沢、越後妻有で一つの芸術特区になれたらと思っています。大地の芸術祭は、アート作品の発表をすることが目的ではありません。地域の人たちが芸術の力を利用して地域づくりをすることが目的です。どうせなら、世界に名だたるアートの拠点・芸術の集積場になってほしいですね。

過疎地域は日本の原風景が残っているところ。おじいちゃん・おばあちゃんの元気と古い学校や民家、そして現代美術を生かして地域の再生を目指すべきだと思います。越後妻有が再生することは、つまり日本が再生することです。

●地元の料理で仲良しに

羽鳥信一（名ヶ山区長・57歳）



名ヶ山にはこの地域からこれだけの人が入ってきたのを見たのは生まれて初めて（笑）。小

学校が閉校になって8年、大地の芸術祭の会場に選んでもらえてうれいことです。ムラの人たちは交流ということに慣れていませんが、地元の料理でみんなが仲良くなっていると思っています（笑）。施設の管理やイベントなどにもかかわって、芸術祭を大成させたいですね。

●プレッシングクォール

塩保朋子（アーティスト・24歳）



自然の中で作品展開するのは初めてだったので、名ヶ山の美しい環境は新鮮で創作意欲がかきたてられました。6枚重ねのプラスチック製特殊紙にハンダごてで穴を開けて制作しました。この小学校、この地域がハチの巣のような新しい生命力で生まれ変わることイメー징して

妻有焼を目指す うぶすなの家

やきものとともに民家再生



願入集落の一角に「うぶすなの家」があります。大正13年建築のかやぶき民家の空家を、民家再生に高い技術を持つ建築家の指揮のもと、基本的な構造はそのままに一階にレストラン、2階に茶室・展示室を持つアト空間に作り変えてあります。

圧巻は内部の調度類で、かまどは織部焼き、ジロ（いろり）は色絵陶板、風呂桶は信楽焼、洗面台は黒釉陶器と、すべて陶芸家の作品で作られています。8人の陶芸家がこの作品を展示し、この地域の土で焼いた「妻有焼」の産地化を目指しています。

7月24日(日)には、『七輪陶芸』など画期的な陶芸技法の発明で知られる吉田明さん指導のやきものワークショップ「ペーパー七輪」が開催され、約20人の参加者は、一日で焼き上げる陶器づくりに熱心に取り組んでいました。吉田さんは昨年から市内に住所を移し、妻有焼の窯第1号の立ち上げを準備しています。

1階のレストランは、願入集落と周辺地域の女性たちが交代で運営し、郷土料理などを提供しています。中でも、作家とともに創作した「山菜餃子」は高い人気を博しています。

●うまい飯に合う茶わんを作る

吉田 明 (陶芸家)



忙しいねえ、毎日(笑)。陶芸というとみんな難しいと思ってるけど、そんなことないんだよ。大きな窯(かまど)じゃなくても、七輪でも焼けるし、電子レンジを使えば10分でもできちゃう。だから『10分陶芸』って本も出した(笑)。今ワークショップでやっているのは、新聞紙で作った窯だよ。みんな気楽に取り組んだらいいと思うね、自分がほしいものを作るようにしてさ。この米はうまいから、今まで飯茶わんなんか作らなかつたけど、飯食うために作ったよ(笑)。ここに移り住んだから、この暮らしに合うものを作っていきたいね。

●とても刺激的！

富谷路子 (南魚沼市・35歳)



うぶすなの家で、作品説明を担当しています。レストランのメニュー作りにも試作段階からかわりました。ふだんこの地域で

食べられている料理と、身近な食材を使った新しい料理を用意できました。山菜餃子や山菜ハンバーグなどがその代表です。陶芸の勉強をしているので、3年前からこへび隊に入ってお手伝いしています。8人の作家の先生の活動を間近に見られてとてもいい刺激になっています。東下組のみなさんの元気とやる気にも感じています(笑)。

●再構築

行武治美 (ガラス造形作家/左)

丸く削った、1万枚くらいの鏡で建物の外も中も覆い尽くしました。1枚1枚が周りの風景を映して、まるで建物が周りの風景に姿を変えているようです。この場所になじみながら存在する。そんな作品にしたかったんです。この建物をこのままどこかにボンと移しても、そのままそこに馴染んでしまえば「再構築」。内壁に張られた鏡はバネで支えられ



現代いけばな百花繚乱

21人の連続個展

小白倉 いけばな美術館



小白倉集落全体が、いけばな美術館として新しい装いに包まれています。集落内の空家と民家の一部を利用し、計3軒の家を会場に1週間交替で現代いけばなの作家21人が個展を開催、人気を集めています。

毎週月曜と火曜日は作家が公開制作し、土曜日には作家が作品の解説をする「いけばなSaturdayトーク」も実施しています。7月29日(土)には大塚理司・下田尚利・古川知泉の各作家が自らの作品の前に解説。会場の民家に入りきれないほどの参加者でにぎわっていました。屋外にもいくつか作品があり、見学者の関心を引き寄せています。横浜市から見学に訪れた渡辺忠治さん(78歳)は、「このいけばなは床の間芸術から解放され、自然とムラの美を最大限に生かしています」と感慨深そうに語りました。

9月には東京都で、小白倉いけばな美術館を検証し、これからのいけばなの可能性を探る「いけばなフォーラム」も開催される予定です。



●学校の思い出また一つ

大津重信 (三ツ山地区長・73歳)

平成3年に休校になった三ツ山分校では、3人の造形作家による作品が展示されていらんです。三ツ山も今は7戸になっての、張り合いねでも、作品が飾られると、ムラの中にもぎやかだんがの。芸術祭なんてほど遠いもんだと思っていたでも、作家さんが一生懸命なところを見てるとムラの人も手伝っての、案外身近に感じることができらんだ。こへび隊の人も来てくれて、ありがた。でも、危ねー仕事はムラの人がやらーそえ。草刈とか、中を暗くするがに春にはずした雪囲いをまた取り付ける



作業なんかもの。また一つ、この学校のいい思い出になったと、ムラの人も喜んでます。

●全作品踏破が目標

数藤真弥子 (沖立/左)

5月の中ころ、出版社の取材の手伝いで集落を回ったのが芸術祭に興味を持ったきっかけです。即、こへび隊に入会し活動を始めようと思いましたが、お客さんとしてもボランティアとしても楽しめそうです。

及川明子 (高田町/右)

友だちに誘われて鑑賞に回ってます。これまではこんなな足を伸ばしてみて回ろうとは思いませんでしたが、今回は全作品の踏破が目標です。今日はこの後、友だち7人とともに前夜祭の妻有観世能を観に行きます。



これから参加できる大地の芸術祭イベント一覧 (変更になる場合もあります) ()内は地域

月日	イベント一覧
8月12日(出)	●いけばなSaturdayトーク(小白倉 午後2時~)(川西)●トゥーザウズ「世界で一つだけのベリージャムを作ろう」(ナカゴグリーンパーク 午前11時~)以降会期中毎日開催(川西)料金500円●木村崇人「星の木もれ陽プロジェクト」(なかさと清津スキー場 午後8時~雨天中止)(中里) ●中馬芳子+スクール・オブ・ハードノックス・ジャパン「A Page Out of Order/狂った1ページ」(農舞台 午後6時30分~)(松代)料金1,800円(前売1,500円)中学生以下無料 ●ベン・モリエゾン イベント(松代城駐車場)(松代)
13日(日)	●ポチョムキン野外上映会「ぼくのSwing」(倉俣ポチョムキン 午後7時~)(中里) ●日比野克彦「第4回明後日カップ2006」(旧昴平小学校 午後)(松代) ●小林重予「伝承の植物観察」(松代城山 午後1時30分~)(松代) ●横浜ポータルシアター 語り講演(松代城山 午後5時~雨天会場農舞台)(松代)料金1,200円(前売1,000円)中学生以下無料
15日(火)	●山中カメラパフォーマンス(名ヶ山写真館裏庭 午後7時~雨天中止)(十日町) ●岡部俊彦「ワールドエナジーシステム」(農舞台 午後7時~)(松代)料金500円 ●日本大学芸術学部演劇学科日舞コース「お礼の舞」(星峠 脱皮する家 午後4時~)(松代) ●日比野克彦「あざみひら盆踊り大会」(旧昴平小学校 午後)(松代)
16日(水)	●日本大学芸術学部演劇学科日舞コース「棚田三番叟」(農舞台 午後4時~)(松代)
17日(木)	●CAWC(チャイルド・アート・ワークショップ・カンパニー)ワークショップ「お茶箱プロジェクト」(サンクロス十日町 午前10時~)(十日町) ●日本大学芸術学部美術学科版画専攻有志「伊沢和紙でうちわを作ろう」(星峠 脱皮する家 午前10時~)(松代)
18日(金)	●木村崇人「星の木もれ陽プロジェクト」(なかさと清津スキー場 午後8時~雨天中止)(中里) ●さとうゆきワークショップ(浦田 克雪センター 午後3時~)(松之山)
19日(土)	●渡辺泰幸演奏会(土市 作品展示家屋 午後1時30分~)(十日町) ●彦坂尚嘉+《気》派ワークショップ&演奏会「とまと歌 in 越後妻有」(田麦公民館 午後7時~)(十日町) ●守屋行彬&小串里子「染布コラージュ」(城ヶ丘ピュアランド 午前の部9時30分~、午後の部1時30分~雨天中止)(十日町) ●真田岳彦「越後の市・真田塾ワークショップ」(十日町博物館前広場 午前10時~)(十日町) ●なりきりえまき(サンクロス十日町 午前10時~)(十日町) ●ワークショップ/感動する身体・感じる身体(鉢・旧真田小 午後1時~)(十日町) ●いけばなSaturdayトーク(小白倉神社境内 午後2時~)(川西) ●木村崇人「星の木もれ陽プロジェクト」(なかさと清津スキー場 午後8時~雨天中止)(中里) ●ニポール公演「NO DIRECTION, everyday」(農舞台 午後7時~)(松代)料金2,000円(前売1,600円) 中学生以下無料 ●柳澤紀子イベント「長谷川晴彦能公演」(松代城山 午後5時~)(松代)料金1,000円 ●越後妻有ヤッホープロジェクト(森の学校キョロロ集合 午前の部9時30分~、午後の部2時30分~)(松之山)料金500円
20日(日)	●ナウインプロダクション有限公司「こへび物語」上演イベント(キナーレ 午後1時30分~)(十日町) ●山口啓介ワークショップ(三ツ山・旧三ツ山分校 午後3時~)(十日町) ●「うぶすなの家」茶会(願入「うぶすなの家」 午前11時~)(十日町)料金500円 ●守屋行彬&小串里子「染布コラージュ」(城ヶ丘ピュアランド 午前の部9時30分~、午後の部1時30分~雨天中止)(十日町) ●真田岳彦「越後の市・真田塾ワークショップ」(十日町博物館前広場 午前10時~)(十日町) ●ワークショップ/感動する身体・感じる身体(鉢・旧真田小 午後1時~)(十日町) ●朝岡あかね「ラジコンヘリのフライトデモンストラーション」(TMR空港計画 小嶋屋裏 午後1時~雨天中止)(川西) ●渡辺泰幸演奏会(農舞台 1時30分~)(松代) ●森繁哉「越後妻有芸術プロジェクト」(プログラム1松代道路劇場 踊るごせ唄 東山集落 午後5時~、プログラム2松代の記憶の芸術祭 儀明劇場「倉」 午後8時30分~)(松代)
21日(月)	●ワークショップ/感動する身体・感じる身体(鉢・旧真田小 午後1時~)(十日町)
22日(火)	●ワークショップ/感動する身体・感じる身体(鉢・旧真田小 午後1時~)(十日町)
23日(水)	●ワークショップ/感動する身体・感じる身体(鉢・旧真田小 午後1時~)(十日町) ●日本大学芸術学部音楽学科(Sonic Train)「音楽と映像によるハレとケのエコロジー」(農舞台 午後6時~)(松代)
24日(木)	●ヒガマ春夫パフォーマンス(鉢・旧真田小 午後6時30分~)(十日町)
25日(金)	●ヒガマ春夫パフォーマンス(鉢・旧真田小 午後6時30分~)(十日町) ●木村崇人「星の木もれ陽プロジェクト」(なかさと清津スキー場 午後8時~雨天中止)(中里) ●キンシーズ公演「キンシーズ!」(農舞台 午後7時~)(松代)料金1,200円(前売1,000円) ●さとうゆきワークショップ(浦田 克雪センター 午後3時~)(松之山)
26日(土)	●いけばなSaturdayトーク(小白倉神社境内 午後2時~)(川西) ●鈴木淳子 諏訪神社の夏祭り(元町 諏訪神社 午後)(川西) ●木村崇人「星の木もれ陽プロジェクト」(なかさと清津スキー場 午後8時~雨天中止)(中里) ●森繁哉「越後妻有芸術プロジェクト」(プログラム1松代道路劇場 踊るごせ唄 桐山集落 午後5時~)(松代)
27日(日)	●伊藤嘉朗「ツール・ド・妻有ツアー」(松代コース農舞台 午前8時~要予約)(十日町)料金1,500円(パスポート必要・料金別) ●関口恒男「原始未来レイヴ」(節黒キャンプ場 午前10時~)(川西) ●森繁哉「越後妻有芸術プロジェクト」(プログラム3棚田劇場 イリヤ&エミリア・カバコフ棚田(雨天決行) 午後4時30分~)(松代)料金1,500円(前売1,200円)中学生以下無料
30日(水)	●中村卓夫 やきものワークショップ(願入 午後1時30分~)(十日町)料金500円
31日(木)	●彦坂尚嘉+《気》派シンポジウム 「山村の魅力と将来」(田麦公民館 午後7時~)(十日町)

※料金の記載がないイベントは無料、もしくはパスポート提示で無料。 ※9月に開催されるイベントは次号で紹介いたします。
※イベントチケット販売所: 各地域トリエンナーセンター・まつだい農舞台・公民館・情報館・博物館



越後妻有芸術プロジェクト プログラム1
松代道路劇場
踊る唄
ごせ唄
女唄
公演
出演 森 繁哉 + 南山座支店

舞踏家森繁哉さんと南山座支店による創作ダンスが、芸術祭の開催期間中4つのプログラムで楽しめます。「踊る唄女唄」は、昭和の半ばころまで農民の娯楽として広まった唄女さんの語りや唄を現代舞踏で表現したものです。これは、門付興行として、松代地域内4集落の神社や民家を舞台に公演されます。「地域の風土、人々の生活の中で生まれ育まれた、その土地の芸能を現代に伝えたい」と、話す森さんは昨年の夏10 daysで公演した「松代ダンス之稲作図絵」以来、松代地域の各集落で、公演活動を続けています。

プログラムは、このほかに「松代記憶の芸術祭(会場:儀明劇場「倉」)」「棚田劇場(会場:まつだいの農舞台向棚田)」「森繁哉独舞(会場:まつだいの農舞台)」が予定されています。※開催日は9ページに掲載



「星の木もれ陽プロジェクト」



●やっばり芸術家ってすごいんだ!
横尾真奈美(星峠・小6/左)
外国の人たちなので、最初は言葉もかけづらくて緊張しました。でも、通訳の人といっしょにお話しているうちに、とても楽しい人たちだっけわかりました。だって、絵とか音楽とかコンピュータとか、どれもみんなすごいんだよ。私は、音楽を教えてもらいたいと思っています。そして、いつかイギリスに行ったらグライズデルのみんなに聞かせてあげたいです。
佐藤悦子(木和田原・小4/左)
横尾さんの家に遊びに行ったら、このオープニングイベントにいっしょに出ないかって誘われたの。みんなといっしょに何回か練習したけど楽しかったよ。「間違ってたって心配しなくていいよ」って。だから今日、



●マップ頼りに作品と集落探訪
村山恭司(川治内後2・76歳)
静子(75歳)
今日で2日目です。今のところ50作品を回りました。日中の合間をみて、夫婦で出かけてらんです。これはいいなと思った作品は写真に撮っておくんです。すぐいっばいになるのもね。前回の芸術祭もこうして2人で回って、全作品を制覇しました。
家は、子(46歳)も孫(18歳)もみんなパスポートを買って、鑑賞に回ってます。夕飯のとき、「あの作品がいい」とか「今日はいくつ観てきた」なんて作品談議に花が咲きます。家中が芸術祭ファンってところかの。マップ頼りに、あっちこっこの集落に行ってみるが面白いの。初めて行ってみるムラもあって、その人と親しく話してみると近しい感じがするの。

「繭の家―養蚕プロジェクト」
(蓬平)

〈古巻和芳+夜間工房・日本〉
6月から蓬平集落で養蚕経験者やこへび隊の協力により、10数年ぶりに蚕が育てられました。ここで出来た繭を素材として、作品が展示され



ています。1階は昔の養蚕をしていた室内を再現し、2階の薄暗い部屋では、400個の繭が淡い光を放っています。床に置かれた古びた箱

「マウンテン」
(桐山)

〈リチャード・ディーコン・イギリス〉
改良された道路の脇の空地がポケットパークに様変わり。中央には、俵型(?)のステンレスを組み上げた、リチャード・ディーコンさんの作品が置かれました。ここからは黒姫山を望むことができ、山に沈む夕陽は格別な美しさです。



「農閑期」
(大白倉)

〈木村有子・日本〉
石こうで、米づくりに欠かせなかった古い農機具の型を採って複製・再生化するという作品です。各エリアでの空き家プロジェクトの展開中に出てきた、今は使われていない古



《東田尻集落》
大地のグルグル (No.172) / 芝裕子
場所：東田尻川原の田んぼ、作品となり
日時：期間中毎週土・日曜日午前9時～午後3時
作家と協働で作品を制作した東田尻の皆さんが、お待ちしております。名産「田尻のあんぼ」もご賞味あれ。

《本屋敷集落》
フローティング・バンブー (No.199) / 中澤克巳
場所：本屋敷慈眼寺内
日時：期間中毎週土・日曜日午前10時～午後3時
お寺の中で老人会の皆さんが、お茶のサービスをし



8月20日(日)慈眼寺でお茶会を行います

《倉俣集落》
ポチヨムキン (No.178)
／カサグランデ&リンターラ建築事務所
場所：倉俣柳原ポケットパーク入口
日時：期間中毎週土・日曜日午前10時～午後3時
人気のあるポケットパークで、こへび隊と集落の皆さんがお待ちしております。心地よい風が吹く川原の公園で、地元の皆さんとおしゃべりしませんか。

《高道山地区振興会》
星の木もれ陽プロジェクト (No.174) / 木村崇人
場所：なかさと清津スキー場
日時：期間中毎週金・土曜日午後8時～午後9時
※雨天の場合は総合インフォメーションセンター(025-595-6180)にお問い合わせください。
「夜の里山」を感じる「星の木もれ陽プロジェクト」の開催会場で地元の皆さんが、温かくお迎えます。

川西地域
大白倉
霜条



い農具を、真っ白な造形として現在に
よみがえらせました。

「ツマリカモ」
(霜条)

〈鈴木明+藤山哲郎+神戸芸術工科大学・日本〉
作品名の「ツマリカモ」のカモはカモフラージュ(迷彩・偽装)を意味し、津南町のマウンテンパークと中里地域の倉俣にも作品が設置されています。
廃車となった軽自動車にそれぞれの土地にあったイメージの装飾が施されており、芸術祭の期間中、松葉荘前に無人販売所として、ツマリカモグッズなどを販売しています。



左：販売されているツマリカモグッズ

会期
2006.7.23sun-9.10sun
アートトリエンナーレ2006
越後妻有
大地の芸術祭
ECHIGO-TSUMARI ART TRIENNIAL
深発見!! その7

大地の芸術祭パスポート

大地の芸術祭の全作品と各施設を鑑賞するにはパスポートが必要です。市民の皆さんは『地域パスポート』の購入をお願いします。

《パスポートの利用方法》

パスポートは、芸術祭期間中1枚につき1人のみ有効です。また、1作品につき1回のみ利用できます。パスポートがない場合は1作品に300円から500円の個別鑑賞料が必要です。2回目以降はパスポートを提示すると作品の個別鑑賞料や各施設の入館料が半額になります。

《パスポートの種類》

- 〈市民用〉
- ◆地域パスポート(赤色)…1,000円
対象：十日町市・津南町に住居登録している人
販売所：各地域トリエンナーレセンター(キナーレ十日町)・仙田体験交流館(川西)・ユーモール内縄文の駅(中里)・まつだいふるさと会館(松代)・森の学校「キョロロ」(松之山)・大割野商協会展館(津南)・市役所・支所・公民館・情報館・博物館・広域事務組合企画振興課・下条インフォメーションセンター(みよしの湯(下条))
 - ◆無料パスポート(青色)…小・中学生・高校生用
(会期前に、学校を通じて配布済み)
- 〈市民以外用〉
- ◆一般パスポート(緑色)…3,500円
 - ◆高校生・学生・シルバー(65歳以上)パスポート…2,500円
 - ◆小・中学生パスポート…800円
対象：十日町市民、津南町民以外の人
販売所：地域パスポート販売所のほか、市内宿泊施設・クロス10・ほくほくなんでも案内所・ほんやら洞・共立観光(十日町)・千手温泉千年の湯・ナカゴグリーンパーク・ベリーハウス(川西)・(南)東部タクシー(松代)・各こへびステーション(ポチヨムキン(中里)・まつだい農舞台(松代)・旧東川小学校(松之山)・マウンテンパーク津南(津南))

※パスポートには、旅館、温泉、美術館や各種資料館への入場割引とイベント割引の特典があります。

わくわく芸術祭

5



芸術祭とトマトそばで ムラ挙げて地域おこし



レポート
「峠村」が
ブランドに!
山岸公男 (56歳 星峠)

最近は何だか写真を撮りに来る人が多くてねー。春と秋にはあぜ際にずらーとカメラが並ばーで。仕事してても恥ずかしいよんがそ。そこへ今回の芸術祭だ。今までは作品は無かったでもね、今回は5つ作られたが。民家の柱や梁なんかをコンコン削ったり、買い物袋で花を作ったり、いろいろで集落の人も興味半分には手伝ったりした一そ。

中でも、イギリスから来ている「グライズデール7人の侍」は地域の活性化を目指す気宇壮大なプロジェクトだ。棚田を見下ろす土手に無人の販売所を作って、集落の人たちの唄をCDやDVDにして販売したり、インターネットでムラの農産物を買ったり。7月29日(土)には、グライズデール・アーツの人たちと池袋の国際アートフェスティバル2006にも行って来て、星峠の農産物の宣伝もしてきた。

今後は、棚田の四季をリアルタイムでネット配信したり、家のミニチュア模型を作ったりするらしい。何かやるたびにムラ中がにぎやかになっての、たまげてるで。



グライズデール オープニングイベントで唄を唄う星峠の皆さん (7月23日まつだ農舞台)

六箇地区の田麦集落に、「田麦茶屋」がオープンして、話題を呼んでいます。田麦茶屋は、集落の人たちが営む、芸術祭期間中だけの食堂を兼ねた休憩所です。前回の芸術祭で、作家の彦坂尚嘉さんは、「田麦集落42戸物語」として地域の歴史や「家宝」をテーマにした作品を手掛けました。併せて、集落で採れるトマトを使った休憩所を設営しようと、集落の人たちとこの田麦茶屋計画を打ち立てました。今回の芸術祭では、彦坂さんなど8人の作家がトマトをテーマにした作品《とまとアートの館》を設営して、田麦茶屋と並んで集落に活気をもたらしています。

田麦茶屋の人気メニューは「トマトそば」。もともとあるノウハウを生かし、芸術作品との一体性を持った地元産品で「田麦」も広く知ってもらおうと、あみ出した名物品です。トマトそばを作る福崎平八郎さん(74歳)は「トマトをつなぎにそばを打つんだんが面倒なんだ。打ちたて、ゆでたてが勝負だの。そば粉は地元産。使い勝手が良くてなじむんだんが」と、あっさりとしたサラダ感覚が夏向きメニューだと話します。暑い夏に作品めぐりに訪れた人たちをもてなそうと、集落挙げての取り組みが続けられています。



松之山地域



「Happiness stone house」

〈潮田友子+東京芸術大学美術研究科
油画第3研究室のプロジェクト:日本〉

潮田さんは、第1回大地の芸術祭から参加している作家で、『行商―物々交換』をテーマに、下布川地区の人たちと交流を続けています。今

回は、この地域で撮影した、自然と人々の映像などを杉の丸太で作ったスクリーンに投影する作品『記憶の部屋』を制作しました。作品制作にあたり潮田さんは、次の世代にも活動が受け継がれることを望み、東京芸術大学の学生たちとの共同で制作しています。学生たちの作品は、絵画や造形、写真、などで制作した映像で、表現の形式は様々です。特に、ワークショップで制作した映像は、東山に住む小学生から高校生までの参加者と学生2人による共同作品です。松之山の言い伝えや名所・習慣などをユニークに映像化していま



す。潮田さんと学生たちによる多種多様な作品が展示してある古民家は、『幸せの宝箱 Happiness stone house』に変わります。



十日町地域



「掛け軸」

〈ドミトリ・グトフ:ロシア〉

作品めぐりに車を走らせながら、池沢集落を抜けると、緑に囲まれた山間から巨大な掛け軸が目に見え込んできます。この作品は、作家のドミトリ・グ

トフさんと集落の皆さんとのワークショップで作られた作品で、掛け軸に書かれた言葉の選定や、それを書くための大きな筆も作りました。何をどんな思いで書いたのか、どんな筆で書いたのか、作品を観て思いをめぐらせてください。



「ここ何が起きたのか」
〈アイシャ・エルクメン:トルコ〉
アイシャ・エルクメンさんは、池沢集落内の空き家を利用して、「ここ何が起きたのか」という「時間」を見せる作品を制作しました。家財の倒壊や壁の崩落など、建物の中はおとしの中越地震直後の状態をそのまま残してあり、敷板の順路に添って各部屋を観ることが出来ます。家の周りにはツタが植えられ、成長して家を覆うことで、忘れることができない「震災」のままの時間を



封じ込めるねらいがあります。

基本構想を策定しました

4

今回は、「地域別の振興方針」をお知らせします。地域別の振興方針は、今後の地域づくりを推進するため、中学校区ごとに「地域」を設定し、位置づけや役割・振興方針を示したものです。

◆下条地域

地域の中央に福祉・医療施設や温泉施設があり、NPOが平地と山間地をつなぐバスを運行するなど地域の福祉意識が高いため、福祉のまちのモデル地域として位置づけられます。今後さらに子育てや人材育成に住民と行政が一体となって取り組み、子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域の確立を目指すとともに、地域外との多様な交流の推進による地域の活性化を図ります。

◆中条地域

新潟県唯一の国宝である火焔型土器が出土した笹山遺跡や、神宮寺山門をはじめとする県指定文化財などが多く存在することから、本市の歴史資源の情報発信拠点な地域として位置づけられます。また、市街地近郊地域は、生活環境の整備や地理的条件から転居者の受け入れ役を担う地域でもあります。中央部の中条

地区、市街地に隣接する大井田地区、山間地の飛渡地区のそれぞれ異なるた地域的特徴を有機的につなぎ、地域の活性化を図ります。

◆十日町中央地域

JR飯山線・ほくほく線十日町駅東側やしんざ駅を中心に市街地が形成された本市の玄関口となる地域です。また、繊維を中心とする各種産業や市街地住民を支える商業など、経済活動の中心であるとともに、雪



きものまつり

やきものとともに歩んだ歴史や文化を生かした体験交流・情報発信拠点の役割を果たします。雪国文化の雰囲気を感じられる落ち着いたまち並みの景観づくりを進めるとともに、空き家や空き店舗を新規産業の活動拠点として活用して、市民や来訪者が行き交うにぎわいのある地域の形成を図ります。

◆十日町南地域

近年発展してきた新しい大型商業集積地や上越市と南魚沼市につながる国道253号を抱えることから、新市の広域的な流通や交易の拠点的役割を担っています。また、国、県、市の官公施設や、福祉施設、文教施設が存在しているほか、ほくほく線十日町駅西側の開発など、新しい十日町市街地の顔を持つことになりました。商業、交通、公共施設など各種都市機能と住民の暮らしを有機的につなげて地域振興を図ります。

◆吉田地域

地理的に本市のほぼ中央に位置していることから、十日町市内の各地域間を結ぶ連絡の要所として新たな

地域づくりが期待できる地域です。クロスカントリースキークースでの各種大会や合宿を地域一体となって受け入れるとともに、周辺の自然や文化・歴史資源などを積極的に情報発信し、人と人との交流を進めて地域の活性化を図ります。

◆水沢地域

当間高原リゾートをはじめ、スキー場やゴルフ場など自然を生かしたリゾート施設のほか、家族連れで楽しめる体験型農業施設が複数あり、本市の総合的な保養空間の役割を担っています。地域高規格道路のIC周辺整備と、中里地域、南魚沼市、信濃川西側との交通ルートを機能的につなぎ、人、物、情報の交流を推進すること、地域住民が豊富な地域資源を積極的に活用してまちづくりに取り組むことで地域の活性化を図ります。

◆川西地域

人と自然が共生した生活環境優先の地域づくりを進めていき、循環型・環境保全型農業における先進地的な役割を果たすことを目指している地域です。また、積極的なボランティア活動をを通して、本市におけるボランティア活動の先進地としての役割を担う地域でもあります。住民と地域、企業などとの連携により、人と

自然との共生や安全・安心な生活に配慮した取り組みを進めます。

◆中里地域

豊かな自然資源に恵まれた地域特性を生かした付加価値の高い農業生産を担う地域です。また、清津峡、七ツ釜、小松原湿原などの観光資源や、雪原カーニバルといった雪を活用したイベントなどを生かした周遊型観光地の拠点としての役割を担う地域でもあります。豊かな地域資源を保全・活用し、農業との連携による体験型観光地づくりを進めます。

◆松代地域

上越地方と中越地方の接点に位置し、ほくほく線まつだ駅と国道253号が近接していることから、本市西部地域における交通結節拠点としての役割を担う地域です。また、棚田に代表される自然資源や農村・



越後田舎体験

里山文化、大学交流、現代アートなどを生かした体験交流の場としての役割を担う地域でもあります。農村文化と芸術の融合・連携により自然や文化・芸術を体感できる体験交流空間づくりを進めます。

◆松之山地域

自然との融和の中で営まれる農業を基幹産業としており、松之山温泉や棚田・ブナ林に代表される国内でも有数の美しい自然資源を活用した癒しとくつろぎの空間としての役割が期待できる地域です。そして、基幹産業である農業を生かした田舎体験などの事業を積極的に推進する体験交流の場としての役割を担う地域でもあります。日本三大薬湯の松之山温泉や棚田・ブナ林の原風景、伝統文化を大切にしたい癒しとくつろぎの交流型観光地づくりを進めます。

今回で、基本構想のお知らせは終わりです。基本構想を実現するため、現在策定中の基本計画と実施計画により具体的な取り組みを進めます。『雪・自然・農が織りなす温もりと躍動のまち』を目指して、市民一人ひとりのまちづくりへの積極的な参加と協力をお願いします。

■問合せ 総合政策課企画政策係
☎757-3111(内線229)

7月の夏、各種全国大会の選手が一堂に集まる

7月25日(火)、十日町保健センターで7・8月に行われる全国大会に出場する選手たちへの激励壮行会が開催されました。この夏、十日町市からは、スポーツと芸術文化合わせて6つの全国大会に36人の選手が出場し、活躍が期待されます。出場大会と選手名・所属は次の通りです。 ※敬称略

◆スポーツ全国大会

- 平成18年度全国高等学校総合体育大会
 - ▼陸上(8月2日(水)～6日(日)大阪府大阪市) 田村英晃、川崎将幸、村山未希、小島亮(以上十日町高校)、志賀旭(安塚高校)
 - ▼空手道(8月6日(日)～9日(水)大阪府東大阪市) 越村慎司(十日町総合高校)
 - ▼相撲(8月2日(水)～4日(金)和歌山県和歌山市) 村山達也(海洋高校)
 - ▼体操(8月2日(水)～4日(金)大阪府大阪市) 佐藤将吾(分水高校)
- 第22回日本ジュニア陸上競技選手権大会(7月8日(土)～9日(日)島根県出雲市) 村山未希(十日町高校)
- 第14回全国中学生空手道選手権大会(8月19日(土)～20日(日)京都府京都市) 相沢慎太郎、村山雄也(以上松代空手協会)
- 第25回全国ママさんバスケットボール交歓大会(7月28日(金)～7月30日(日)茨城県水戸市) 富井由美、関谷里恵子、小林千登勢、松崎由美子、丸山智美、佐藤いずみ、大平真保子、小山浩美、丸山零慧子、相場奈穂子、長井真美、富井利恵、井之川祐美子、石井綾子、関深雪、大淵玲子(以上、十日町ママ)
- 第25回全国ママさんバスケットボール交歓大会(7月28日(金)～7月30日(日)両国国技館) 児玉達義、佐藤崇(以上吉田小学校)、金井旺雅(中条小学校)
- 第25回全国ママさんバスケットボール交歓大会(7月28日(金)～7月30日(日)茨城県水戸市) 富井由美、関谷里恵子、小林千登勢、松崎由美子、丸山智美、佐藤いずみ、大平真保子、小山浩美、丸山零慧子、相場奈穂子、長井真美、富井利恵、井之川祐美子、石井綾子、関深雪、大淵玲子(以上、十日町ママ)

◆芸術・文化全国大会

- 第13回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2006」(7月26日(水)～28日(金)北海道川上郡東川町) 保坂友紀、江口あゆみ、吉楽佳代子(以上十日町総合高校)
- 第25回全国ママさんバスケットボール交歓大会 4位 十日町ママ
- 全国大会入賞者は、次号以降に紹介します



湯ノ米マイ心ハート まつのやま

松之山支所
☎596-3131

いろいろな体験とふれあいに感動！

田舎体験の夏季受け入れ

7月21日(金)から8月3日(木)までの2週間、松之山地域で越後田舎体験の夏季受け入れが行われました。今年、松之山地域で受け入れる予定の学校数は15校で、すでに春には4校が訪れています。夏休みに入ったこの時期は最も多く、2週間で9校、約980人の生徒を受け入れました。第一陣は、東京の江戸川区立篠崎



中学校2年生140人が、7月21日(金)から2泊3日の日程で林間学校として訪れました。初日は松口にある須山の森でハイキング、午前中の雨も上がり絶好のハイキング日和となりました。生徒たちは、地元インストラクターとともにブナ林などを歩き、さわやかな汗を流していました。2日目は、浦田地区と上越市大島区に分かれてそれぞれ体験が行われました。浦田地区では約70人が地元のお母さんたちの指導で、そばや餅つきなどの食体験や、竹とんぼやわら細工などの工芸体験に挑戦。初めはしぶしぶの生徒たちも徐々にその楽しさに夢中になり、真剣に取り組んでいました。この日の夜は、3〜5人に分かれて農家民泊。翌日は民泊先で農村生活を体験し、都会では味わうことの出来ない体験と地域住民との温かいふれあいに感動していました。秋季には、稲刈り体験などで2校が予定されています。

がわに新聞

川西支所
☎768-3111

花のアートコンクール受賞者発表

「花と緑のまちづくり」をテーマに開催された第6回花のアートコンクールには、ガーデニング部門(団体の部・個人の部)とコンテナガーデン部門、合わせて18作品の応募がありました。7月26日(水)に審査会が行われ、29日(土)に仙田体験交流館で表彰式が行われました。今回の作品は8月15日(予定)まで、仙田体験交流館に展示しています(ガーデニング部門は写真による展示)。ぜひご覧ください。

◎ガーデニング部門 (※敬称略)
◎団体の部
最優秀賞 十日町地域川西交通安全協会女性部



コンテナガーデン部門
清水ノリ子

◎個人の部
最優秀賞 南雲要子

優秀賞 山下アイ(学校町)
特別賞 児玉ヨシ(学校町)

◎コンテナガーデン部門
最優秀賞 清水ノリ子

優秀賞 児玉ヨシ(学校町)
特別賞 南雲要子(美咲町)



ガーデニング部門個人の部
南雲要子



ガーデニング部門団体の部
十日町地域
川西交通安全協会女性部

高校生が 地元企業を訪問

7月13日(木)、安塚高校松之山分校の3年生を対象にした地元企業訪問と求人説明会が開催されました。これは、高校生から地元の企業をもっと良く知ってもらおうと平成2年から毎年行われているものです。始めに、新山工業団地にあるきのこ工場や建設会社など3企業を訪問。きのこ工場では、日本でも5本の指に入るといふ特殊な機械の説明などに興味深そうに聞き入っていました。その後、大蔵寺高原「希望館」で求人説明会が行われ、十日町公共職業安



定所の職員から就職のアドバイスなどの指導がありました。また、地元企業・事業所3社からは、「若い力を地元企業に」と熱いラブコールが送られていました。

身近に市政を！ 地域づくり講座開催

7月14日(金)、松之山自然休養村センターで「まつのやま地域づくり講座」が開催されました。今年の第1回講座は「身近に市政を」と題し、田口直人市長の講演が行われ、県立松代病院の問題や情報化推進整備事業、観光と農業など市の事業の説明がありました。松代病院問題では、地域住民の声を県に届けるためシンポジウムを計画していることを。また、情報化推進整備事業では、利用者からも少しの負担を考えていること。観光と農業では、市全体の農業振興のために学校給食や温泉宿の食材の利用などで地産地消を推進したいとの話がありました。参加者した70人は田口市長の講話を熱心に聞き入っていました。



震災復興！ キラリフェスティバル



おらどこのよさこい祭

となりました。交流館前に設置された楽楽市場では、とれたての新鮮な野菜や果物、加工食品、木工品などが並べられ、開店と同時にお客さんが集まり、袋一杯にお目当ての品を買い込んでいました。

野外ステージでは「おらどこのよさこい祭」が行われ、仙田小学校のよさこいソーラン踊りを皮切りに、近隣市町村からの出演団体を含め7団体が、粋な衣装に身を包み、雄大で華やかな舞を披露しました。出演団体の衣装・踊りとも年々レベルアップし、観客を魅了していました。

7月30日(日)、仙田体験交流館キラリで、「第5回キラリフェスティバル」が開かれました。中越大地震で交流施設キラリが被災したことから、以後、祭りを中止していましたが、施設も復旧し、1年ぶりの開催

このほか、交流館の目玉の一つに「雪室」があります。野菜や米などの貯蔵や低温を利用しての野菜栽培、交流館の冷房に利用しているこの雪室を見学したり、真夏に真冬の体験をしたりして楽しんでいました。

「客寄せ看板」を制作

川西商工会(押木篤美会長)では、2年間にわたり経営塾を開催してきました。3年目を迎えた今年は、塾生同志が自ら企画して、魅力ある地域や店づくりを実践していくため、店の顔となる『客寄せ看板』(縦1.8m×横1.8m)15枚を制作しました。この看板は、個々のお店のPRはもとより、大地の芸術祭の来訪者に、地域の魅力を紹介し気楽に立ち寄ってもらおうための目印の意味と、芸術祭を盛り上げたいという思いが込められています。



この看板を目印に



樋口 琴子ちゃん
ひぐち ことこちゃん
平成15年1月24日生まれ
兎口

隣の小林さんちのおじいちゃんおばあちゃんとおそぶのが日課の琴子ちゃんは、卵焼きが大好き。自分でお茶碗の中に卵を割って、お母さんに卵焼きを作ってもらうんだよ。おいしいよ。



14



五十嵐 滉ちゃん
いがらし こうちゃん
平成15年5月9日生まれ
城之古第1

体を動かすことが好きなこうちゃんは、スポーツが大好きです。テレビの野球を見ながら気分はプロ野球選手。いちごとバナナとカレーは好きだけど、トマトとマヨネーズはちょっと苦手かな。

ときめき ネットワーク

田村優子さん
1985年生まれ
炭火焼肉「彩」勤務

先月の清水紀孝さんからバトンタッチ。

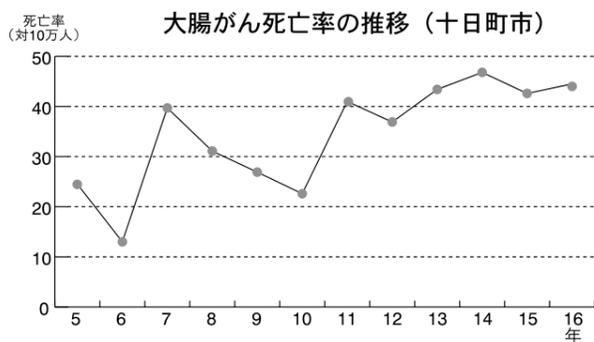
飾らない自分 自信持って十日町弁

十日町が好きです。都会が苦手なこともあるけど、なんと言っても周りに私を支えてくれる人がたくさんいることです。あいさつの仕方や敬語の遣い方、当たり前だけれども大切なことです。でも、自分じゃ気が付かないときってありますよね。その場で、教えてもらうようになるほどなって思いますが、お店に自分がお客さんとして行くときも、気にしちゃいます。

友だちから「十日町弁ってかわいいね」なんて言われたこともあります。だから、よその街へ遊びに行っても気にしないで十日町弁でしゃべります。それも、十日町が好き理由の一つかな。仕事柄友だちと休日が合わないのが残念だけど、みんな都合し合ってときどき車で遠出もしたりします。運転に自信も付いたしね。



今年、成人式を迎えました。振袖を着たとき「あー、人生の大イベントなんだ」って思ったけど、終わったらなんか楽しみが一つ減っちゃったって感じです。初めて国民年金を払ったときに大人になったんだと実感しました。今まで目先のことだけ考えてたけど、将来の自分のために、きちんとしておかなきゃねって。選挙もそう。次から投票できるから、ちゃんと行きます。消費税のことも気になるし（笑）。



増え続ける大腸がん

検査で早期発見

増加する大腸がん

十日町市の大腸がん死亡率は、グラフのように増加傾向にあり、全国的にも増えています。大腸がんにかかる人の割合も、死亡率と同様に増加傾向にあり、年齢別にみると、おおむね40歳代後半から、年齢とともに罹患率が高くなります。

大腸がん検診

大腸がんは、早期に発見し治療すれば、治療後の回復が良いと言われています。市では40歳以上の人を対象に、大腸がんの



問合せ 健康支援課成人保健係
TEL757-3111（内線125）

効果のある 検診にするために

【便を採ったらずに涼しいところで保存しましょう】

採った便は、温度が高いところに置くと、便の中にあつた血液がどんどん破壊されて少なくなってしまう、正確な検査ができなくなります。早期のがんを見つけるために、便を採ったらすぐにできるだけ涼しいところに保存しましょう。

【精密検査は 必ず受けましょう】

医師から精密検査が必要と判断された場合は、「自覚症状がないから」「忙しいから」「検査がいやだから」とそのままにしないで、必ず精密検査を受けましょう。

精密検査を受けないと、受けた場合に比べ、大腸がんで死亡する危険性が4〜5倍高くなること、研究によって明らかになっています。精密検査を受けてこそ、検診の意味があります。

光ケーブルネットワークで 地域が変わる

VOL.5

問合せ 総務課 政策係
757-3111（内線233）

地域情報化有識者懇談会の提言書がまとまりました①

地域情報化有識者懇談会は、市が進める地域情報化推進施策に対し、運営面や住民サービス面、産業界での活用面などから検討し、市が施策決定を行うにあたっての提言をまとめることを目的に設置されました。今年1月に第1回懇談会を開催し、その後、9回の懇談と2回の先進地視察を経て、提言書の取りまとめを行いました。

◇IP（インターネットプロトコル）告知端末機に対する提言

10人のメンバーが一番時間をかけて議論したのが、この告知端末機のあり方です。一部の地域で既に設置されている行政防災無線などの戸別端末機に代わるものとして、行政サービス継続の観点で、ぜひとも全世帯導入すべきという意見が出されました。

また、告知端末機から防災告知という機能を切り離し、コミュニティ利用とすることによって、全世帯配置から一定のグループを対象とした導入も可

◇地域内電話サービスに対する提言

110番や119番といった緊急電話もかけることができ、現在使っている番号がそのまま使えるIP電話サービスを大手通信事業者が行っています。そのような技術動向も十分に注視すべきとしています。

また、当市は携帯電話の不感地域が多数存在しています。中越大地震時に携帯電話は有用な情報伝達手段であったことから、不感地域解消もこの情報化施策で取り組むべきと提言されています。

※次回も有識者懇談会からの提言②をお知らせします。



第12回石彫シンポジウムが開幕

総合体育館北側広場で、第12回十日町石彫シンポジウムが開催されています。7月29日(土)に行われた開会式では、3人の作家(宮城島隆夫さん、吉村貴子さん、内山士郎さん)が紹介され、テープカット、ノミ入れ式の後、早速作品の制作が開始されました。作家の一人、内山士郎さんが石に墨汁で線を入れ、グラインダーを当てると、辺り一面に石の粉が広がり、薄いもやがかかったような状態になりました。内山さんは、「十日町市の雄大な自然の中で、全力を出し切っていい作品を作りたいと思います。怪我のないように」と笑顔で話していました。作品は19日(土)までに完成し、20日(日)に本町・駅通り商店街に設置されることになっています。

木綿がつむいだ歴史を学ぶ
9月10日(日)まで、博物館で夏季特別展「2006」越後の布／暮らしの中のきもの」が開催されています。7月22日(土)には大阪樟蔭女子大学非常勤講師の酒野晶子さんを迎えての記念講演会「いと・ぬの・きものくもめんを中心に」が開催されました。河内木綿の研究に長年取り組んできた酒野さんは、室町時代には新しい繊維だった木綿が、当時の経済発展とともに日本の文化に浸透していく様子を詳細に語り、訪れた人たちはじっくり聞き入っていました。



芸術祭開幕も祝い 松代観音祭

7月22日(土)、23日(日)にまつだい観音祭が行われました。この祭りは、17世紀中ごろ、松代の観音堂に安置されていた馬頭観世音の祭礼に立てられた観音市のにぎわいを現在に残すものです。今年は大地の芸術祭の開幕と相まって、メイン会場の中央商店街はお祝いムード一色。前夜祭の大花火大会や小・中学生によるマーチング・農耕歴史行列、そしてよさこい演舞などが祭りを盛り上げました。また、芸術祭のオープニングイベントとして、松代地域との交流団体である世田谷区から青空好見さんとサンパチームの皆さんが応援に駆け付け、青空さんの軽快なトークとサンパチームの華やかなダンスで観客を魅了するなど、地域を挙げて芸術祭の開催を祝いました。



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報聴係(☎757-3111内線213)へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics

tokamachi topics



市役所 フォークラス 27

シンボルタワーの真の姿は？
見上げる市役所本庁前のタワー。「トキめき新潟国体」の文字が見えます。2009年に吉田クロスカントリー競技場で行われる第64回国民体育大会冬季大会スキー競技会のPR看板です。これより先に、2007年には天皇杯全日本スキー選手権大会、2008年には全国高等学校スキー大会が開催されます。ところでこのタワー、けっこうカッコいいですね。アート作品？ いえいえ…実はムカシ…浄化槽の〇〇抜きだっただけですよ。今は？ 広告塔ですよ！

向井山朋子ピアノコンサート「line-線」

7月25日(火)、市民会館で、世界的なピアニスト向井山朋子さんによるアサヒビールロビーコンサートin越後妻有アートトリエンナーレ2006「line-線」が開催され、約400人が集まりました。コンサートは向井山さんのビデオ作品「Line」の映像に併せた演奏から始まり、その後、聴衆はバッハやショパンなどの曲を堪能しました。向井山さんは演目の最後に、前衛的なパフォーマンスが組み込まれた曲「ジャリーロ」を披露。曲中、鍵盤を空打ちさせ、ピアノの中の弦をつま弾く演奏方法に聴衆は何度も息を飲み、演奏後は会場全体が賞讃の拍手に包まれていました。



県工芸会展十日町展開催
7月21日(金)～23日(日)の3日間、クロス10で第27回新潟県工芸会展十日町展開催されました。4年ぶり3回目の開催となった今回の十日町市巡回展では、金工・陶芸・漆芸・染織・木工・七宝など、県工芸会員と一般公募の入賞作品50点が展示されました。23日(日)には、日展会友の伯耆正一さんによる作品観賞会も行われ、3日間で約530人が会場を訪れました。また、期間中には作品販売も行われ、売上金は震災復興のために、市へ寄付されました。

高円宮妃殿下をお迎えして 美術館再開

インド・ミティラー美術のコレクションで名高い大池のミティラー美術館(長谷川時夫館長)が、中越大地震による被害の修復を完了し、1年9か月ぶりに公開を再開しました。7月21日(金)には、来賓に高円宮妃殿下をお迎えして内覧会と復興オープン記念式典が行われ、約200人が参加しました。内覧会では、長谷川館長が代表的な作品を1点1点案内しながら解説。高円宮妃殿下は、「インドにもない貴重なミティラー美術のコレクションは世界一のもの。周りの自然の美しさとともに、とても心動かされます」と述べられ、終始にこやかに、熱心に見学されていました。



ご協力をお願いします

「県道中条田川線(上町～下町地内)」が 車両通行止めになります

県道中条田川線(上町交差点～下町交差点)が、下水道管きょ布設工事のため、下記の期間、車両通行止めになります。大変ご迷惑をおかけしますが、う回路をご利用いただくなど、ご理解・ご協力をお願いします。

■交通規制の期間

8月21日(月)～10月中旬

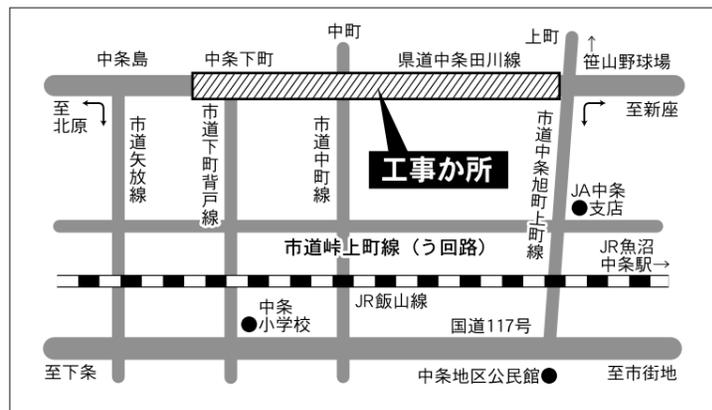
午前8時30分～午後5時

※上記以外の時間帯、および日曜・祝祭日は片側交互通行(大型車両除く)となります。

※緊急車両などは通行できます。

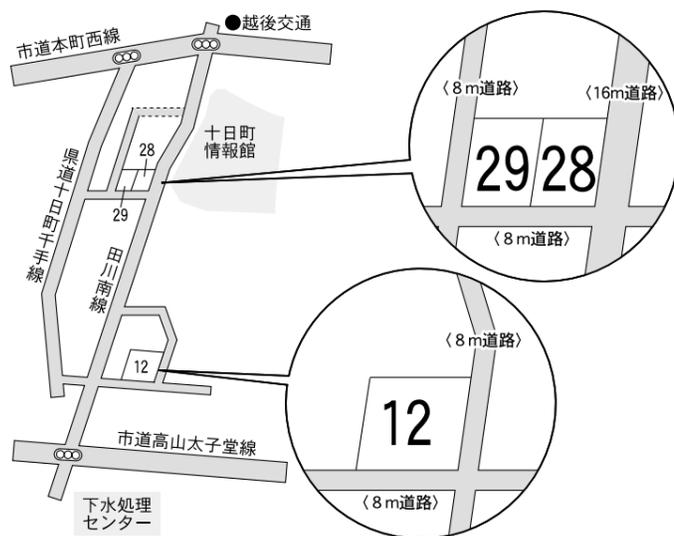
■問合せ

下水道課事業係 ☎752-7441



西本町土地区画整理事業の 保留地の一部を売却します

保留地の位置、地積及び売却価格



番号	街区名	画区名	地目	地積 (㎡)	売却価格 (円)
12	8	15	宅地	240.75	10,641,150
28	27	11	宅地	245.54	13,246,883
29	27	12	宅地	245.54	11,208,901

※現地に市の看板が建ててあります。

土地区画整理法第96条第2項の規定により定めた、西本町土地区画整理事業の保留地の一部を売却します。

◆売却方法

公募

※1画地の申込者が複数の場合は抽選

◆応募方法

受付場所：区画整理室

受付時間：午前9時～午後5時

※土・日曜日、祝日を除く

締切り：9月15日(金)

◆抽選

日時：10月1日(日)午後1時30分

会場：区画整理室

◆問合せ

区画整理室 ☎757-3111 内線335

平成18年度 情報館主催

コンピュータ研修(後期) 受講者募集

おおぜいの皆さんから、気軽にパソコンにふれていただくきっかけとして、コンピュータ研修を開催します。パソコン操作とインターネット利用のための基礎講習のほか、ワード(文書作成)やエクセル(表計算)、ホームページ作成などアプリケーションソフトの入門講習や応用コースもあります。情報館のパソコンを実際に操作しながら学習できます。どうぞ気軽に参加してください。

■対象 パソコン初心者でマウス操作やキーボード操作に慣れない人や、自分のホームページを作りたい人、文書作成や表計算などアプリケーションソフトの操作を覚えたい人など、どなたでも受講できます。

■会場 情報館

■定員 1講座18人

■講座 講習時間は内容によって6時間と8時間のコースがあります。

■受講料 1講座4,000円(テキスト代込み)

■申込み方法

【郵送または講習申込書での申込みを受付けます】

はがきに次の①から⑥を記入して投かんいただくか、情報館に用意してある申込書に記入してください。

①希望の講座名、②希望日程、③郵便番号、④住所、⑤氏名、⑥電話番号

■申込み締切り 8月22日(火)(当日消印有効)

※定員を超えた場合は抽選になります。抽選にもれた人には8月25日(金)までにお知らせします。その他の人には8月末までに受講案内を郵送します。

【定員に達しない講座は

電話・窓口での申し込みを受付けます】

8月26日(土)午前9時30分から、定員に達するまで電話・情報館窓口で随時受付けます。

※満員の講座は、キャンセル待ちを受付けます。

※申込みが5人以下の講座は中止することがあります。

■申込み・問合せ

十日町情報館 ☎948-0072西本町2) ☎750-5100

講座名	内容	講習日程	時間
パソコン & インターネット 入門	電源の入れ方・マウスの操作・文字入力から始めます。ホームページの閲覧や情報の検索、電子メールの送受信を講習します。	9月5日(火)・6日(水)・7日(木)	午後2時～4時
		9月20日(水)・21日(木)・22日(金)	午後7時～9時
		10月11日(水)・12日(木)・13日(金)	午後2時～4時
		10月17日(火)・18日(水)・19日(木)	午後7時～9時
ホームページ作成 入門	ホームページ作成ソフトのホームページビルダーの基本的な使い方を、実際にホームページを作成しながら学びます。	9月26日(火)・27日(水)・28日(木)	午後2時～4時
		10月11日(水)・12日(木)・13日(金)	午後7時～9時
		9月5日(火)・6日(水)・7日(木)・8日(金)	午後7時～9時
		9月12日(火)・13日(水)・14日(木)・15日(金)	午後2時～4時
ワード(文書作成) 入門	文書作成ソフトWordの基本的な使い方を講習します。体裁を整え、写真を挿入するなどして、見栄えの良い文書作成の方法を学びます。	10月3日(火)・4日(水)・5日(木)・6日(金)	午後7時～9時
		10月17日(火)・18日(水)・19日(木)・20日(金)	午後2時～4時
		11月14日(火)・15日(水)・16日(木)・17日(金)	午後2時～4時
		9月26日(火)・27日(水)・28日(木)	午後7時～9時
ワード 応用	基本操作から一歩進み、より高度な文書作成をマスターします。	10月24日(火)・25日(水)・26日(木)	午後2時～4時
		11月7日(火)・8日(水)・9日(木)	午後7時～9時
		9月12日(火)・13日(水)・14日(木)・15日(金)	午後7時～9時
エクセル(表計算) 入門	表計算ソフトExcelの基本的な使い方を講習します。実際に集計表やグラフ作成を通して、Excelの機能の一端を学びます。	9月20日(水)・21日(木)・22日(金)	午後2時～4時40分
		10月3日(火)・4日(水)・5日(木)・6日(金)	午後2時～4時
		10月24日(火)・25日(水)・26日(木)・27日(金)	午後7時～9時
		11月14日(火)・15日(水)・16日(木)・17日(金)	午後7時～9時
エクセル 応用	基本操作から一歩進み、より高度な機能の活用をマスターします。	11月25日(土)・26日(日)	午後1時30分～4時30分
		12月5日(火)・6日(水)・7日(木)	午後7時～9時



お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

川の中の生物を調べる 体験環境学習会

川の中にすむ生物で、水の汚れ具合を調べる体験学習会です。市のマイクロバスで行きます。※小学校中学年以下は保護者同伴 ●日時 9月9日(土)市役所本庁・午前8時30分集合・12時30分解散 ●会場 五十沢キャンプ場(南魚沼市) ●参加費 無料 ※参加賞有り ●定員 先着40人 ●持ち物 水筒・雨具・長靴またはサンダル ●申込み・問合せ 市民生活課生活環境係(内線157)

双子ちゃん・三つ子ちゃんの親子のつどい

双子ちゃん、三つ子ちゃんを

もつ保護者と妊婦を対象に、親子のつどいを開催します。 ●日時 8月28日(月)午前10時~11時30分 ●会場 十日町保健センター ●申込み・問合せ 8月21日(月)までに十日町健康福祉事務所地域保健課(☎757-2400) または健康支援課母子保健係(内線122)

報告会&歴史講演会 「越後縮を織る」

●日時 9月10日(日)午後1時30分~(開場1時) ●会場 情報館 ●参加費 無料 ●定員 先着100人 ●内容 「報告会」中越地震緊急避難資料整理の進捗よく状況、縮問屋加賀屋文書群を中心に、丸山克巳さん(古文書整理ボランティア代表)「講演会」越後縮を織る地域経済を支えた女性たちの力、杉本耕一さん(新潟県立文書館) ●問合せ 情報館(☎750-5100)

縄文・大地の芸術祭めぐりツアー

博物館・津南町歴史民俗資料館・大地の芸術祭作品を巡ります。 ●日時 8月22日(火)午前9時30分集合 ●参加費 3,000円(昼食代ほか) ●申込み

問合せ 8月17日(木)までに博物館(☎757-5531)

中里盆踊り

●日時 8月16日(水)午後8時~9時30分 ●会場 ユーモール駐車場 ●盆踊り曲目 妻有盆唄、十日町小唄、中里音頭ほか ●問合せ 中里公民館(☎763-2493)

ベルナティオ夏まつり

十日町伝統芸能協会盆踊り大会、夜店、打上げ花火のほか、ホテル宿泊券が当たるじゃんけん大会などあります。子どもには風船をプレゼントします。 ●日時 8月19日(土)午後6時30分~9時30分 ●会場 ベルナティオフォーラムセンター駐車場 ●問合せ ベルナティオ夏まつり実行委員会(☎758-2752)

星と森の詩美術館 藤巻秀正彫刻展

制作50年を記念し、学生時代からの秀作約60点を館内外で展示します。9月16日(土)には午後2時から作品解説会を開催。また、「人間国宝刀匠天田昭次展」も同時開催中。 ●日時 10月1

十日町・川西・中里地域と松代・松之山地域間のには市外局番025が必要です



第7回十日町市環境フェア エア出展団体募集

環境保全及びリサイクル社会づくりを目的に毎年開催している「環境フェア」への出展団体を募集します。 ●日時 10月9

十日町おやこ劇場 夏休み映画会 「オズの魔法使い」

席に限りがあります。会員以外の人は事前にチケットを購入してください。 ●日時 8月19日(土)午後2時 ●会場 千手中央コミュニティセンター ●入場料 会員・無料、会員外は3歳以上500円 ●問合せ 加賀書院(☎752-2114)

夏だ!元氣だ!盆踊りだ!

水ヨーヨーやくじ引き、ソーマン流しもあります。 ●日時 8月17日(木)午後7時~10時 ●会場 立正佼正会十日町教会駐車場 ●盆踊り曲目 三階節、十日町小唄ほか ●問合せ 立正佼正会十日町教会(☎752-4308)

公営住宅入居者募集

松代地域内の公営住宅への入居者を募集します。 ●募集期間 8月14日(月)~8月28日(月) ※入居の資格条件があります。 ●申込み・問合せ 建設課建築住宅

物件	間取り	家賃(月)	募集戸数	備考
善宗塚住宅 昭和51年度建設 簡易耐火3階建	6畳1室 4.5畳2室 DK	12,000円~ 34,800円	1戸	8号室
善宗塚住宅 昭和52年度建設 簡易耐火3階建	6畳1室 4.5畳2室 DK	12,200円~ 35,400円	3戸	11、16、 21号室
下町第2住宅(特定公共賃貸住宅) 平成7年度建設 木造高床3階建	10・8・6畳 各1室、DK	50,000円	1戸	A-3号室

係(内線251)

ご利用ください 小型ロータリー 除雪機共同導入事業

小型ロータリー除雪機を貸与します。 ●対象集落など 10世帯以上で構成する自治会や除雪組合または集落 ●貸与機械 出力24馬力、除雪幅1、2m・3台 ●貸与条件 導入費用の2分の1に相当する金額を負担すること ●申込締切 9月29日(金) ●問合せ 営雪維持課営雪利水係(内線273)、各支所建設課または建設企業課

シルバー人材センター 会員募集

58歳以上の、健康で働く意欲のある人を募集します。特に冬場の除雪作業の人材が不足しています。 ●申込み・問合せ シルバー人材センター(☎757-5708)

学生料理コンクール 「ごはんに合うおかず」

楽しく手軽に作られる「ごはん」に合う「おかず」を募集します。 ●募集期間 9月4日(月)~(当日消印有効) ●応募資格 県内在住の高校生・専門学生または

長野県豪雨災害の被災者救援のための 県民募金にご協力ください

【募集期間】 ~平成18年9月20日(水)まで
【振込先】 □座名 長野県豪雨災害新潟県民募金事務局
□座番号 第四銀行県庁支店(普) 1272372
北越銀行県庁支店(普) 252699
大光銀行新潟支店(普) 3004597
※同一銀行での振込手数料は無料
●問合せ 長野県豪雨災害新潟県民募金事務局
(県庁危機管理防災課内) ☎025-280-5758

長野県大雨災害義援金を募集します

【募集期間】 ~平成18年8月18日(金)まで
【振込先】 □座名 日本赤十字社長野県支部
郵便振替口座 00530-8-1068
※通信欄に「長野県大雨災害義援金」と明記
【直接受付】 社会福祉協議会内日赤事務局へご持参ください
●問合せ 十日町市社会福祉協議会 ☎750-5010

星と森の詩美術館 森の夏コンサート

●日時 8月20日(日)午後4時~ ●会場 星と森の詩美術館 ※野外会場のため大雨の場合中止 ●入場料 500円、中学生以下無料 ※入場券は当日販売 ●出演

夕涼みコンサート

十日町ジュニアウインドアンサンブルの吹奏楽コンサートです。 ●日時 8月19日(土)午後6時~ ●会場 きもの広場公園(クロス10向い) ※荒天時クロス10中ホール ●入場料 無料 ●問合せ 片桐(☎757-9980)

「スマイル・カンパニー」登録事業者募集

障害者の雇用の促進と安定を図るため、障害者を多く雇用する企業に対し、物品などの調達を積極的に行う「スマイル・カンパニー制度」をスタートしました。 ●申込み・問合せ 県労働雇用課(☎025-280-5270) または県のホームページ http://www.pref.niigata.jp/sangyoro/sangyo/web/rousei/p182.html



貼付剤の取扱いに 注意しましょう

小児が、かぜなどで胸やどに貼る貼付剤を誤ってかみつけたことによる健康被害が報告されました。使用の際は、小児が口に入れないように注意してください。誤って口に入れた場合は、直ちに吐き出させてください。また健康に異常が出たときは、医療機関に受診するとともに製造元へ連絡してください ●問合せ 健康支援課母子保健係(内線123)

食中毒予防注意報

県内では、昨年7月の集中豪雨後に岩かきなどを原因とした腸炎ビブリオ食中毒が集中的に発生しました。今年も豪雨後の気温の上昇とともに、同様の食中毒の発生が懸念されるため、「食中毒予防注意報」が発令されました。食中毒防止のため、次のことに注意しましょう。①食品購入のときは新鮮なものを選び早めに持ち帰り、帰宅後は速やかに冷蔵庫に保管する。②調理の際はよく手を洗う。③調理器具は食材が変わるごとに洗浄する。④食材は中心部まで十分加熱する。⑤魚介類は内臓除去後十分洗浄する。⑥宴会料理の持ち帰りはしない。⑦かきを生で食べるときは「生食用」の表示があるものを購入し十分洗浄する。●問合せ 十日町保健所 ☎757-2707

高齢者筋肉向上トレーニング事業開始

●日時 9月5日(火)午後2時～3時 ●会場 温泉健康増進施設 ゆあーず ●対象 65歳以上の十日町市民 ●内容 マシンを使った筋肉トレーニング ●申込み・問合せ 8月25日(金)までに温泉

木造住宅の耐震診断料を助成します

地震による木造住宅の被害を軽減し災害に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震診断を受ける人に診断料の一部を助成します。◆受付期間 9月29日(金) ◆受付戸数 150戸 【助成対象】市内に所在する個人所有の住宅で、十日町市税を完納し、次の条件を満たすもの。①現在居住している住宅(併用住宅を含む) ②一戸建ての住宅



1 サルホッケー・ラケットテニス・ペタンク・壮年野球 ●申込み・問合せ 総合体育館 ☎752-4377

健康増進施設ゆあーず ☎761-3663



国民年金保険料の免除分は追納できます

国民年金保険料の免除を受けたことのある人は、老齢基礎年金を受けるとき、免除期間については年金額が3分の1(半額免除は3分の2)に計算されるため、満額の年金を受けることができません。ただし、免除を受けてから10年以内であれば、その当時にさかのぼって納付(追納)できることになっています。より満額に近い年金を受け取るためにも保険料の追納をおすすめします。●問合せ 新潟社会保険事務局六日町事務所 ☎025-770-2211

より豊かな老後のために国民年金基金に加入しましょう

国民年金基金は、老齢基礎年金に上乗せする形で年金を支給し、老後の生活をより豊かにするための公的な年金制度です。国民年金保険料を免除されている

Table with 4 columns: 耐震診断の対象となる延べ床面積, 耐震診断料, 自己負担額, 助成金額. Rows: 70㎡以下 (7万円, 1万円, 6万円), 70㎡超 175㎡以下 (8万円, 1万円, 7万円), 175㎡超 (10万円, 1万円, 9万円)

【耐震診断の対象範囲】助成の対象となる耐震診断の範囲は木造部分のみとする。高床、基礎などの木造以外の部分は助成対象範囲より除く。【助成金額】助成対象範囲の住宅

寄付ありがとう

- 7月26日届出分まで(敬称略) ●十日町市へ=新潟県工芸会(20,000円) ●社会福祉事業へ=宮幸酒店(車いす1台) ●情報館へ=大嶋征之助(田中町本通り) 湯沢昌子(西寺町) 富井泰一郎(馬場2) 茂野子ヨノ(三和町) 高橋真紀(稲荷町2) 橋信夫(稲荷町3東) 阿部昌義(寿町2) 杉本耕一(新潟市) ●博物館へ=庭野重信(西寺町) 高橋健一(上川町) 湯沢信治(七軒町) 樋口新次郎(稲荷町西) 柳芳裕(北鏡坂)



十日町体力づくりスイミングスクールが新しくなります

9月1日(金)から「十日町体力づくりスイミングスクール」が「十日町体力づくり支援センター」に名称が変わります。それに伴い運動スタジオを増設し、子どもからシルバード世代までを対象にした各種運動教室を開催していきます。各種教室の申込みの受付は8月5日(土)からです。詳しくは問合せください。●問合せ 十日町体力づくりスイミングスクール ☎758-

中越大震災復興基金事業の申請手続きが変わりました

8月1日(火)から、手づくり田直し支援や雪国住まいづくり支援、事業所解体撤去支援、地域コミュニティ再建などの基金事業の申請手続きが、原則1回で済むようになりました。申請する人は担当課と十分に協議をしてから事業を進めるようお願いいたします。●問合せ 防災安全課 復興係(内線172)

恩給欠格者、引揚者の皆さんへ

旧軍人などで恩給などを受けていない恩給欠格者や、終戦に伴い本邦以外の地域からの引揚者に内閣総理大臣名の書状などを贈呈しています。請求書類は、福祉課または各支所健康福祉課の窓口にあります。●問合せ 独立行政法人平和記念事業特別基金(フリーダイヤル ☎012-01234-933)

「まち・むらトーク」開催します

市長ほか地域などに出向いて市民と対話する「まち・むらトーク」の開催日程が決まりました。それぞれの地域、地区ごとに参加してください。詳しい日程、内容などは各地域、地区ごとにお知らせする予定です。

Table with 3 columns: 日程, 地域・地区, 会場. Rows include dates from 8月23日 to 11月8日 across various regions like 水沢地区, 大井田地区, etc.

※各会場とも午後7時開始 おおむね2時間程度 ●問合せ 総務課広報広聴係(内線213)

第1回中越復興フェニックスマラソン&ウォーク

●期日 10月1日(日) ●会場 長岡市山古志支所前広場ほか ●種目 ①マラソン(10km男子・女子)の部 ②ウォーキングの部(10km) ●参加費 ①2,000円 ②高校生以上1,500円 小・中学生750円 ※往復シャトルバス代別途 ●申込み方法 申込用紙(総合体育館、各公民館・教育事務所に配置) ●申込み・問合せ JT B 関東長岡支店中越復興フェニックスマラソン&ウォーク受付窓口(長岡市)

第19回新潟県スポーツフェスティバル 中越地区大会

種目ごとの開催日、会場など詳細は問い合わせください。●期間 9月10日(日)～11月26日(日) ●会場 県内各地 ●種目 ソフトバレーボール・女子ソフトボール・ラージボール卓球・タートルバードゴルフ・男女混合綱引・年齢別ソフトテニス・アカ・女子バレーボール・ワンバウンドバレーボール・ユニバ

あはれなま

▼芸術祭の取材をしていると、何回かとんでもない表現に出会ったため、少し毒気当てられたような状況になることがあります。こちらの許容できる範囲を超えた衝撃的な体験の中、思考停止に陥るか、それともぎりぎりのところで踏ん張れるかという点で、ふと2年前の地震直後の緊張を思い出してしましました。今までの取材では、あまりの緊張感で腹筋が痛くなったことが1回。足がしびれて立てなくなったことが1回。万全の準備をして臨んだら、いきなりイベント自体がなくなっただけが2回と、いいペースで経験を積んでいます。この状況が続くようなら、今年の夏は後で思い出しやすい夏にするのは確実です。芸術祭も夏もこれからが本番です。



市有地および市有建物を公売します ※希望者には現場説明有 ◆物件 土地:十日町市中条字池ノ平丁2940番1外2筆(山新田) 417.89㎡ 建物:旧飛渡第三小学校教員住宅(高床式木造3階建、居住延床面積123.80㎡・築14年) ◆地目:宅地 ◆資料の閲覧期間及び場所: 8月23日(水)までの平日 午前8時30分～午後5時15分 財政課管財係 ◆入札 日時: 8月28日(月) 午後1時30分～ 会場:十日町保健センター ※即日開札 ◆入札保証金 免除 ◆契約保証金 640,000円(土地代金の一部に充当) ◆入札最低価格 6,400,000円 問合せ=財政課管財係 内線224

▼ようやく、心地よくセミの声が聞こえるようになってきました。梅雨明けです。出遅れを悔やむように、ヒグラシが夜明けとともにいっせいに鳴き出すと、じんわりと暑さが込み上げてきます。早朝、通りに面した家の窓を開けていると、マップを片手に数人の人たちが流れていきます。見かけないランニング姿なので、合宿にきた運動部が朝の練習を兼ねて作品めぐりをしているのでしょうか。文武両道? 界わいは半径1km圏内に約60の作品がひしめくアート激戦区です。青いカードをひるがえし、スタンプだけ押しつけていく子など、いろいろな芸術祭の楽しみ方を目にします。ちなみに、作品番号1のスタンプは、各トリエンナーレセンターで押しつけてもらうのだそうです。





発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.752-4635
 E-mail info@city.tokamachi.niigata.jp URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp 編集/総務課広報広聴係



うみのなかまたち



齋木 渉太さん (1年)
 紙を切ったり破いたりしたら、カニやクジラみたいな形になったので、画用紙にはって海の絵にしました。空にはカモメもいるよ。夏休みは海に行くんだ。



柳 妃菜さん (2年)

お家のお花畑です。色をまぜて、たくさんのお花のしゅるいをかきました。わたしはコリの花がすきなので、たくさんいねいにかきました。チョウチョもいねいにかきました。

お花いっぱいになあれ



ジュニア芸術祭

14

燈島小学校



マツボックリツリー



宮内 理久さん (3年)
 まつぼっくりを木に見せるため緑色にぬりました。綿で包んだり、星をつけたりしてクリスマスツリーのようにしたんだ。すずしそうですよ。紙皿に立ててはりつけるのが大変でした。



きれいな夜空



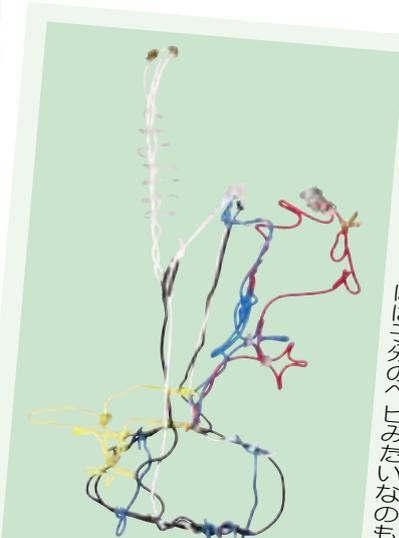
佐野 涼香さん (4年)
 おり紙とおはじきで星空を作りました。細いテープをはってながれ星もつくりました。お願いごとはな-いしょ。お月さまでウサギがモチつきをしているの。ほんとに住んでたらいいなあ。



オニの山



佐野 大地さん (5年)
 布で山を作って液体粘土で固めました。でこぼこにもり上げるのがむずかしかったです。スリッパを青くぬって、口をあけてるようにしました。今にも食い付きそうでこわいだろー。



吉澤 悟さん (6年)

下、リボンが本当についたらこんな感じかな。頭や手や足を、針金を細かく曲げながら作るのが大変でした。空を飛んでるよつに思ってたんだ。背中の子分のへんみだいなもよう。

ドラゴンこそ本当の王

市民の動き ■ 人 口 62,939人(-32) 男 30,861人(-26) 女 32,078人(-6)
 ■ 世帯数 19,961世帯(+6) 7月末現在()は前月からの増減